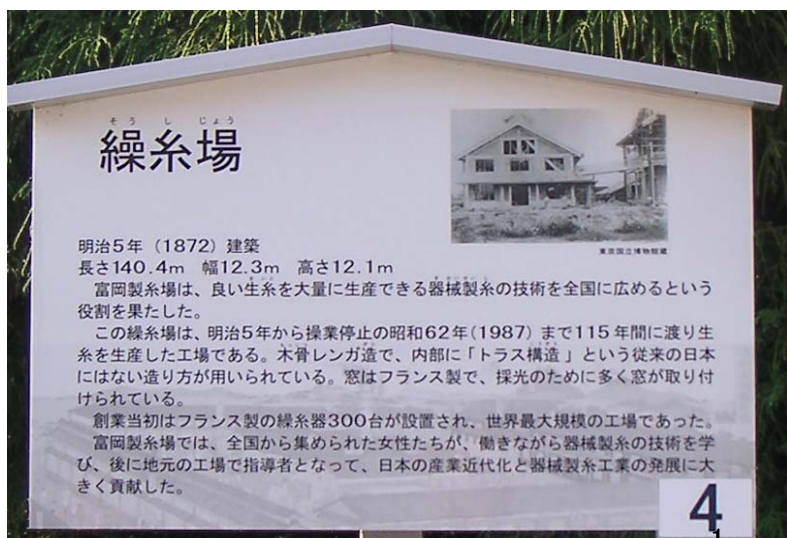


2007年11月17日(土)9時～群馬県富岡市 「第9回・男のゆうゆう塾」

11回 富岡製糸場・小幡城下見学 (戸田邦彦さん)

出席者(16名) 杉田、南、戸田、弓野、青山、上野、斉藤、遠藤、浦野、吉田、辻、御菩薩木、山崎、金田、栗栖、中村、





名勝 楽山園

めいしょう らくさんえん

小幡楽山園は、江戸時代（百五郎前主）に、織田氏によって造られた豪華建物と庭園で、「小幡神社」「小幡屋」と呼ばれてきました。

楽山園という名前は、寛政八水楽山、[小幡山]（楽山）という「楽山」の言葉から名づけられたとされています。また、庭園の池や石組が残り、池のまわりには「山」や「岩」を配した回遊式庭園（歩いて楽しむ庭）で、楽山園や楽山園をとり入れた回遊式庭園としても、江戸初期における大名庭園の特徴を持っています。学術的・歴史的な価値が認められ、平成12年3月20日に国の名勝として指定されました。

また、小幡の町並みのなかには、庭園を持つ武家屋敷、石橋の水鏡である堀川堀などの文化財が自軒に残っています。江戸時代の面影を伝えています。

これらは、豊かな自然環境とともに地域に生まれた人々によって育まれた貴重な歴史遺産であり、まち全体の誇りや魅力を伝えることができます。

このまちの宝である楽山園を、地域の歴史、地域のシンボルとして、文化財として、保存整備を行います。

この楽山園を、わたしたちにとってより身近な名勝として、まちなかで活かしていくことが、この事業の目的です。

ステップ3 総合整備完了
平成21～23年度

ステップ2 庭園部の整備完了
平成17～20年度

ステップ1 庭園部 池・石組の整備 完了
平成14～16年度

整備予定

甘栗町教育委員会

2007. 1





織田氏史跡保存施設（位牌堂）

戦国の雄織田信長の二男信雄は元和元年（一六一五）小幡二万石を拜領しました。織田家は小幡に陣屋を築き八代百五十年統治し、明和四年（一七六七）明和事件により出羽（山形県）へ移されました。

織田家の菩提寺である崇福寺は、宝暦八年（一七五八）、明治四年（一八七二）二度の火災に遭いましたが、歴代藩主の位牌は難を逃れ権従にたり今日まで大切に守られています。

本町では、昭和六十一年（一九八六）に当位牌堂を建造し、歴史的価値の高い位牌を安置・保存しています。

位牌堂には、二代信長と七代信孝を除く十代信美までの位牌と、二代大和松山藩主高長（四代小幡藩主信俊の養父）の位牌が祀られていますが、資料により戒名（法名）などに多少の相違が見られます。

位牌	戒名	法名
信長	信長 信長 信長	信長
信孝	信孝 信孝 信孝	信孝
信美	信美 信美 信美	信美
信俊	信俊 信俊 信俊	信俊
高長	高長 高長 高長	高長

2007. 11. 17



大 奥

幕末、ペリーが浦賀にやってきましたとき、將軍が江戸城大奥の女官達15~18人を親藩である小幡藩のこの家に疎開させたといわれます。

この庭園は、江戸後期に造られ、静の庭（流れのない池）と言われる大奥にふさわしい落ち着いた感じの庭園となっております。

◎お願い
現在お住まいされています。
当家の庭園をご覧頂く場合、当家のご協力によりご覧できることをご理解のうえ、次の事項をお守り下さい。

◎注意事項

- 一、静音にご覧ください
- 二、草木の芽や枝を折ったりしないで下さい
- 三、禁止されている場所には入らないで下さい

